



## 避難所運営委員会の 立ち上げとその必要性および 西コミの関わりについて

副会長 天野 裕



「避難場所」と「避難所」はどう違うのか？

意味も違えば、避難するタイミングや行動ももちろん違います。

「避難場所」とは、災害が発生した時に、緊急に命を守るために、あるいは災害の発生が危惧される時に事前に避難して命を守る場所です。

一方「避難所」とは、被災後に自宅を失った人や自宅に戻れない人が一時的に共同生活を送る場所で、「避難所」は災害発生後に開設され、建物の屋内があてられます。

「避難所」には住宅を失った多くの人が入るため、集団生活を強いられる事になります。この集団生活の秩序を保つためには、最小限の避難所生活のルールが必要になってきます。また、共同生活の中では、救援物資の受け取りや保管、配給活動、行政機関などからの情報を伝達する活動、掃除やゴミの処理など様々な活動が必要になってきます。

このような活動を円滑に行うためには、避難所全体をみんなで管理・運営するため「避難所運営委員会」なる組織が必要です。

そこで、災害発生当初においてスムーズな避難所開設・運営が行えるよう、避難者を中心とした運営組織として、この度「避難所運営委員会」を発足するに至りました。

参考までに、亀田西小学校区内において「避難所運営委員会」が結成されている数は、まだ『1』と極端に少ない状況です。

この様な理由から、今般「避難所運営委員会」を立ち上げる必要があるかを同じ避難所に避難する自治・町内会で話し合うため、西コミとしては地域の住民と協力して、「避難所運営委員会」の設立に向けて協力していきたいと思っております。



## ●避難所運営委員会立ち上げに向けた講習会・ワークショップ

9月10日(日)に江南区役所にて「避難所運営委員会立ち上げに向けた講習会・ワークショップ」を行いました。

講習会には、自治会町内会長やコミュニティ協議会の役員など24名が参加し、公益社団法人 中越防災安全推進機構 野村 卓也様を講師に迎え、避難所運営委員会の立ち上げに向けて知識を深めました。

避難所運営委員会は、地域住民を中心に構成し、平時から避難所の生活ルールの検討を行うほか、災害時には避難所生活の運営全般を担う組織です。

発災時は避難者の精神的余裕がなく避難所運営委員会の立ち上げが困難であることから、東日本大震災を教訓に全国的に平時からの避難所運営委員会の立ち上げが進んでいます。

亀田西小学校区には5つの避難所(亀田西小学校・亀田西中学校・亀田市民会館・亀田第四保育園・亀田第五保育園)があり、現在、亀田第四保育園のみ避難所運営委員会が立ち上げられています。

講習では、全国的な災害発生状況や亀田地区の過去の災害リスクについて説明を受けた後、災害に備え平時から避難所運営委員会を立ち上げる意義について説明を受けました。

## ●グループワーク【考えよう！「避難所運営を疑似体験」】

講習終了後、グループワークでは、各避難所に避難する自治会ごとにグループを作り、実際に避難所で起こりうる問題などを通して、避難所運営について疑似体験しました。

例えば「避難所には300人の避難者がいます。そこに50個のおむすびが届けられました。次の食料はいつ来るかわかりません。おにぎりを配りますか。」という命題に対して、「高齢者や子供を優先しておにぎりを配る」という意見もあれば、「おにぎりで300人分のおかゆを作る」という面白い意見もでました。

参加者からは積極的な意見が出され、避難所運営する上でどのような問題が起こりうるのか、またどのように問題に対処していくのがよいのかなど、参加者同士で話し合いながら問題の解決策を模索していました。

## ●避難所運営委員会の立ち上げに向けた意見交換

グループワークで避難所運営を体験した後、避難所ごとに今後の委員会の立ち上げに向けた話し合いを行いました。

意見交換では、避難所運営委員会内での各自治会の役割分担や委員長・副委員長などの役職者の選定などを話し合いました。

今後は避難先の避難所ごとに分かれて実際に避難所物資や避難場所を確認したうえで、避難所運営委員会立ち上げに向けて委員会のメンバーや各自治会の役割などを決める話し合いを進めていく予定です。



# 令和5年度防犯情報交換会

令和5年8月19日(土)西コミルームにおいて昨年に続き2回目の防犯情報交換会を開催しました。

自治会長を初めコミ協理事等多数の参加で江南警察署生活安全課岡村課長様の講話(最近の交通事情、特殊詐欺の被害等)をして頂きました。

その後各自治会での防犯組織の活動や今後の課題について活発な意見交換を行いました。今回参加した自治会長の方に感想を寄稿してもらいました。



## 防犯情報交換会に参加して

亀田第38区自治会 乙川 惣一

大きな社会問題になっている特殊詐欺や身近な場所での犯罪・交通事故状況などを江南警察署生活安全課長よりお話をしていただいた。特殊詐欺では電話を入り口にするケースが多いため、対応知識を高めることや防犯機能付き電話を活用して欲しいとのアドバイスがあった。お話を聞いて感じたことは、家族内での話し合いがより大切ではないか。その上で、例えば電話をかける時は合言葉を決めておくなども対策の一つではないかと思った。

その後、情報交換会では空き家が増えていることや高齢者の一人暮らしの方の安否確認などで様々な意見が出た。毎月町内を防犯パトロールしている自治会もいくつかあり、地域のコミュニティの大切さを感じた。

核家族化が進む中で、家庭力や地域力が低下していると言われている。こうしたことから新たな地域課題も多くなっており、地域のコミュニティが一層大切になってくると思う。

わが自治会では、老人会もなくなり「地域の茶の間」を作って欲しいとの意見もある。一方、小自治会が単独で作るのも難しい。

これからの課題でもある。



# 令和5年度 亀田西小学校区コミュニティ協議会役員体制

5月19日の幹事会において令和5年度亀田西小学校区コミュニティ協議会役員は下表の通り承認されましたのでお知らせ致します。

役 職			氏 名	
会 長			清 野 明 人	
副 会 長			古 泉 淳 也	
			天 野 裕	
事 務 局 長			間 島 由 夏	
事 務 局 次 長			—	
会 計			山 本 讓 治	
部会代表理事	安心安全部会	部 会 長	*	吉 田 和 雄
		副 部 会 長	*	佐 藤 芳 明
	レクリエーション部会	部 会 長		野 村 祐 行
		副 部 会 長		長谷部 美由紀
	環境福祉部会	部 会 長		大 滝 公 男
		副 部 会 長		荒 川 禎 治
	広 報 部 会	部 会 長	*	栗 原 久 美 子
		副 部 会 長		久 保 田 茂 子
理 事			田 中 貢	
監 査 役			高 橋 健 一	
			中 川 美 和	

## ● 顧 問

役 職	氏 名
亀田西小学校長	石 川 裕
亀田西中学校長	* 東 淳 也
新潟江南警察署長	* 江 花 敏 郎

\*印は新任

## 編集後記

新潟が全国的に有名になるほど暑い夏がすぎ、ようやく過ごしやすくなってきました。亀西コミ協はこれから色々な活動をする予定です。ぜひ参加下さい。

広報部

コミュニティ協議会の運営・活動は新潟市の補助金を受けて実施しています。

～スローガン～

カメダ西 大きな輪になれ 笑顔と行動

